

魚類図鑑 (その5)

ヌマチチブ	スズキ
	
スズキ目ハゼ科	スズキ目スズキ科
<p>河川の汽水域から中流域、汽水湖、ため池など、きわめて多様な場所にあらわれる。泥底にも生息するが、本来は岩や倒木、杭などのかたい基底がある場所や礫底を好む。止水あるいは流れの緩やかなところに多いが、平瀬にも積極的に侵入する。雑食性である。産卵期は春から夏。両側回遊魚であるが、容易に陸封される。</p>	<p>大河川の河口や汽水域に、全長15cm程度の幼魚が進入する。成魚はむしろ内湾性で、夏から秋に川へもよく遡上する。産卵期は11～12月下旬。内湾で浮遊性卵を産む。</p>
ボラ	マハゼ
	
スズキ目ボラ科	スズキ目ハゼ科
<p>河口から塩分濃度の低い所まで進入し、特に幼魚は純淡水域にも入る魚。幼魚は浅瀬の転石に付着した藻類を食べることが多い。成魚は水面をよく群れで泳ぎ、朝夕の時刻には水面を飛び跳ねる。雑食。</p>	<p>内湾性で、特に流入河川のある湾奥から汽水域の砂泥にすむ。成長するにしたがって、成魚は湾内を移動し、全長3～5cmの幼魚が6～7月頃に河口干潟に多く集まる。産卵期は2～4月頃で、泥底に不定形の巢孔をつくり壁面に産卵する。</p>
	<p>参考資料 フィールド図鑑淡水魚、東海大学出版会 山溪カラー名鑑日本の淡水魚、山と溪谷社</p>